

広報 しんち

9月1日現在
1.909世帯
男 4.169人
女 4.376人
合計 8.545人

67号

51 / 10



とじておきましよう。

味覚の秋
くだもの秋

空はあくまで高く、風は葉秋を報じてきます。

目にしめるような白い日さしに種々のくだものが、魅惑の香りを放つて食欲をそそります。

長雨でかなりの影響をうけましたが、赤紫果園地ではリンゴが枝もたわわになっています。

果樹園地は総面積三十八絝、うち二十一絝にスター・キング、富士などが植えられており、もぎとりにおわれています。

もぎとられたリンゴは選果場へ運ばれ、選別されます。リンゴは十六箱毎に箱詰めされ、甘いかおりを漂わせながら東京方面へ出荷されています。

真っ赤に色づいたリンゴをかじる感触は、秋であるとの楽しさをしみじみ味わってくれます。

△今月の主な記事▽

- 完成まぢか、鴻ノ巣ダム……一
- ひとりひとりが賢い消費者に……三
- 経営移譲年金……………四
- 埋れかけている身近かな歴史……五
- おしらせ……六



買い物の10訓

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 余計なものは買わない | 6 表示、マークを確かめて |
| 2 正しい情報を集めてから | 7 分割払いは利率が問題 |
| 3 買いもの計画のメモをつける | 8 契約押印はよく考えてから |
| 4 商品寿命を考えよう | 9 アフターサービスのよいものを |
| 5 量目、寸法に敏感に | 10 苦情があったらすぐに言う |

近は、現金がなくとも、月賦や借入流行に左右され衝動的であつては家計の安定は期待できません。最近などの信用で買える時代です。だからと言つて、こうした方法で買いまくると、あとでその支払いや返済に苦労し、生活を破滅させてしまう例も無いことではあります。

○ 買いものの研究を

大量の商品が出来わつてゐるなかで、上手な買いものをするにはかなりの商品知識をもつことが必

「**買いもの**」にも「**と関心を**

ひとりひとりが賢い消費者に

私達の生活は、経済の成長とともに、年々物質的に豊かになつてきています。いろいろな情報がとびかう中で、次々に売り出される新製品の数々。私達消費者は、これらに振り廻されるとなく、必要なものののみをえらびださなければなりません。

買いもの上手になるには　しまいがちです。

現在、出まわっている商品は、

○**買い物の関心を**

耐久性のあるものだと関心もた
かまりますが、日常の細かいもの
はとく軽視されがちです。
関心をもつことから興味もわき
研究して上手な買物をするように
なるでしょう。



価格や量目は見ただけでわかりますが、品質や機能は無理です。品質は「表示」を確かめなければわかりません。機能は比較テストをした資料がないと比べられません。電気器具など多くの銘柄がありますが、冷蔵庫を取りあげてみても、どの銘柄が良いのか、冷凍庫付とそうでないものとでは総合的に判断すればどちらが得なのかなかなか難しひ問題です。

れば得られるか、考えてみましょう。まずテレビからです。いわゆる商品コマーシャルです。新聞広告もそうです。個々の商品についているラベルももちろんです。情報は電波を通じて、活字を通じていろいろな形で流れています。私たちはこれら的情報を整理し、比較し、賢明な消費行動をとらなくてはいけません。

パート収入と税金

最近は、パートタイムで働く主婦が多くなっていますが、年収が一定額を超えると、夫の所得から配偶者控除(二十六万円)が受けられなくなったり、主婦自身に税金がかかたりします。パート収入は通常給与所得になりますから、給与所得控除を差引いた額が二十万円以下であれば、配偶者控除が受けられま

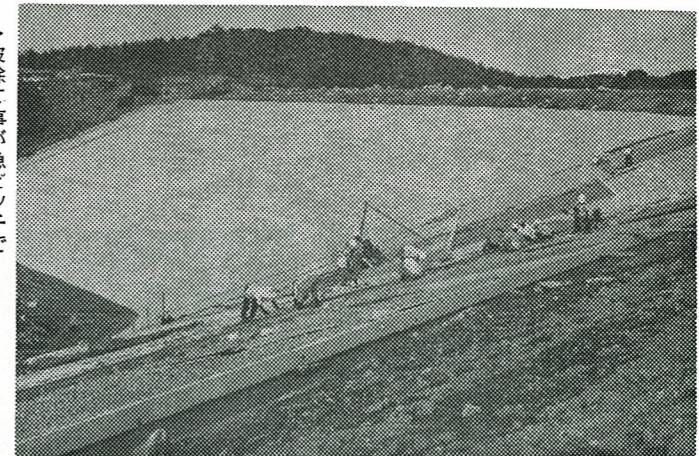
パート収入と所得控除		
パートの年収	夫の所得から 配偶者控除か	パート収入に 所得税が
70万円未満	受けられる	かからない
70万円超 76万円以下	受けられない	かからない
76万円超	受けられない	かかる



第67号 (第3種郵便物認可) 8月30日発行 月刊広報しんちゃん 昭和51年10月1日 (2)

完成まぢか

急ピッヂで進む 鴻ノ巣ダム建設



堅穴住居址十軒等を確認

三貴地遺跡発掘調査

▶波除工事が急ピッチで……

昭和四十八年十月に着工された鴻ノ巣ダムの建設が、昭和五十二年度の完成を目指し急ピッチで進められています。

鴻ノ巣ダムは、町のかんがい用

水を確保するため、県営かんがい排水事業として行われているものです。堤長八百八十七㍍、堤高二十三・五㍍、有効貯水量四十八万トンの鴻ノ巣ダムは、完成後は三百七十五・三㌶の水田をうるおす

工事は現在、波除工事、掛入用

ことができます。

水路の水管橋を架設する工事等が行なわれています。水管橋が架設されれば掛入用水路は完成し、十月からでも通水試験が行われることになります。

今後、工事は貯水試験を行ないながら土堤にセメントを注入するグラウト工事が進められます。工事が始まつて三年。水を湛える鴻ノ巣ダムの姿が見られるのも、もうすぐです。

場整備事業で、用水路と幹線道路にあたるため行われたものです。これまでの調査では、平安時代のものと思われる堅穴^{はじき}住居址十軒、堅穴状遺構^{すえきこう}(先祖の人々の生活のあと)二ヵ所が確認されました。また、当時人々が生活に使用した土師器^{つちしき}、須恵器^{すえき}、小刀など多くの遺物が出土しました。しかし、これらの多くは耕作や天氈返しないで、保存状態が悪く、本来の姿を失っているものが多くあります。

▷ 有権者数		▷ 地面を數十センチ掘り込んで、土間の床に草やワラを敷き、屋根は草やカヤぶきの住居で、質素な生活を営んでいたことがわかれます。	
		男	2,921
		女	3,194
		計	6,115
▷ 投票者数		△ 候補者別得票数	
		芦名 昇盛	高田 がん
		男	2,400
		女	2,641
		計	5,041
▷ 投票率		八百板 正	松平 勇雄
		男	82.16
		女	82.69
		計	82.44
▷ 畟権者数		二四七四票	三一票
		計	1,704
▷ 無効投票数		二五〇三票	九票
		24	

すでに百三十七鈔が整備

五糸が施行されています。
今年度は駒ヶ嶺、大芦地区五
れた水田では、刈り取り時期を

県政に強い関心

かんがい排水事業とともに昭和

え、大型コンバインやバインダ

県知事の辞任に伴う今年二度目

四十八年度から行なわれている県営ほ揚整備事業は、昨年度までに小川、富倉地区など百三十七・九㌶のコンクリートが打たれ、最も近代化へ大きく前進したといふ。また、この事業は、昭和三十一年度より、年々増加の一途を辿り、昭和三十二年度は、三百三十九㌶と、これまでで最大の規模となりました。

の貢献と遺産の投票は、九月十九日午前七時から町内八ヵ所の投票所で行われました。

町史の資料収集のため、亘理藩の開拓移住地である北海道伊達市を訪ね、移住者の子孫のかたたちや、伊達家十八代の当主伊達廉夫氏とお会いしたが、まぎれもなくそこに「新地」のもう一つの姿をみる思いがした。

移住してからすでに百年以上たった、祖先の故郷の人たちとの関係も薄れがちになっているが、子孫のかたたちは、いちように祖先の故郷に対する恩慕の念をもち、新地の様子や祖先の家の人たちのことなど大きな关心をよせていて。

伊達市役所の職員の中に福田の齊藤真一さんから出ている大根武さんは議会事務局長を、また、戸の寺島源助さんから出ている寺

などによって餓をしのいだ。

島確さんは、市民課長として活躍されていました。

新地方部の人々は、大部分が明治四年第三回目に移住している。第三回目の移住者数は、約八百名で最も大規模なものだった。このため浦河、様似、三石の三郡の増支配を政府に請願したが、かえって脱刀帰農して札幌方面に入植するよういわれた。しかし、家老の田村はこれを拒絶する一方、仙台藩に籍をおくためうまくないと考え、「開拓使貢属」となることを申し出た結果、虻田郡の増支配が認められた。しかし、移住者は播種の適期を失い、秋になつても食糧がなく、わずかに大根、いもなどによって餓をしのいだ。

埋れかけている身近かな歴史



カンロクじゅうぶん 元気な横綱

斎藤とよさん

年金を、八十五歳以上のかたには

さらに県からの敬老祝金をお届け

しました。また、長寿夫妻、両横

綱のかたには、カップをおくりま

した。

ことしの最高長寿は、明治十七

年四月十四日生まれの斎藤とよさ

ん（釣師）、耳も目も達者で毎日

元気な生活を送っています。

以上なればなりません。

新地歌壇

母となる吾娘が仕草のたどたど

傍えにありてただ愛しかり

した。

来年もと心に念じ小雨降る

三十日お盆に送り火を焚く

河川愛護水につかりつ草を刈る

我に野苺くれし人あり

冷害を悩める農夫自殺すと

ニユース流れる今朝も雨降る

田まわりしつづの草刈る

荒たまじ

佐藤利子

小松栄子

横山よし子

ます代

萬

横田八重子

佐藤利子

小松栄子

横山よし子

